

災害への日ごろの備えと早めの避難を！

表

災害時の避難場所一覧		
地区	避難所	電話番号
鹿屋地区	市中央公民館	44-0321
	鹿屋中体育館	43-7068
	消防センター	43-4715
	市民交流センター福祉プラザ	35-1003
	西原小体育館	42-2770
	鹿屋女子校体育館	43-2584
	西原台小体育館	44-8725
	第一鹿屋中体育館	43-2920
	県立養護学校	44-5109
	寿小体育館	43-6890
	農業研修センター	43-9292
	鹿屋東中体育館	43-3147
	寿北小体育館	44-5748
	東地区学習センター	31-1190
	浜田小体育館	47-3100
	高須地区学習センター	47-3152
	天神構造改善センター	-
	古江中自治公民館	-
	鶴羽小体育館	46-2010
	花岡地区公民館	31-8001
高隈中武道館	45-2015	
大黒小体育館	45-2105	
柏木多目的集会場	-	
東原小体育館	43-1392	
菟川小体育館	42-2524	
野里小体育館	42-3408	
野里食品加工実習センター	40-3234	
笠野原小体育館	42-2765	
田崎小体育館	42-2390	
田崎地区学習センター	41-5066	
上田崎コミュニティセンター	-	
西俣小体育館	49-2004	
南町集落センター	49-3448	
大始良小体育館	48-2361	
横山集落センター	-	
下堀公民館	-	
輝北地区	平南校区公民館	486-0866
	百引校区公民館	486-1334
	高尾校区公民館	485-1973
	市成校区公民館	485-1131
	輝北総合福祉センター	486-0777
串良地区	岳野公民館	-
	串良公民館	63-2623
	串良中体育館	63-2054
	下小原農業研修センター	63-2711
	有里農業研修センター	63-3760
	串良 B&G 海洋センター	63-7238
	串良農村環境改善センター	63-1041
	上小原分館(上小原校区公民館)	63-2883
	細山田分館(細山田校区公民館)	62-2958
	細山田小体育館	62-2700
吾平地区	吾平振興会館	58-6036
	吾平小体育館	58-7122
	鶴峰小体育館	58-7130
	下名小体育館	58-7124
神野小体育館	58-8795	

これから、大雨や台風の襲来等により河川の氾濫や土砂崩れ、崖崩れなどが発生しやすい時期を迎えます。

日ごろから、自分が住んでいる付近の危険箇所や特徴などを調べておくことも大切なことです。

平成19年4月に町内会を通じて、急傾斜地崩壊危険箇所や浸水地域、避難所等を記載した「鹿屋市防災マップ」を各家庭に配布してありますので、ぜひ、活用してください。

また、市では、災害時に備え、学校や公民館など市

内56か所(表)の施設を避難所に指定しています。

これらの避難所は、台風襲来時や大雨など災害が予想される時に、開設します。

いざという時に備え、日ごろから避難所や避難の道順、近所との連絡方法などについて確認しておきましょう。

大雨や台風の最中に避難することは困難で危険です。早めの避難に心がけましょう。

【問い合わせ】
市自治防災課
099431124

日ごろの備えと早めの避難



雨に注意

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

危険な箇所を調べておこう



危険箇所等は鹿屋市防災マップでも知ることができます。日ごろからどこが危険か、避難場所はどこかなどを確認しておきましょう。

避難しようとする時は下記へ連絡してください。

- 鹿屋市役所 0994-43-2111
- 輝北総合支所 099-486-1111
- 串良総合支所 0994-63-3111
- 吾平総合支所 0994-58-7213

避難の道順を決めておく



避難する道に危険な箇所がないか、日ごろから調べておきましょう。

情報に気を配る



気象情報などさまざまな情報に気を配り、近所の人などとも連絡をとりましょう。避難する準備も忘れずに行いましょう。

避難の準備



非常持ち出し品として、懐中電灯、常備薬、非常食・水(家族の2日分程度)、現金・貴重品、衣類などを準備しましょう。



合同救出救護訓練



救出救護訓練



災害対策本部長視察



自主防災組織初期消火訓練



5月31日に開催された鹿屋市防災会議



水防工法



避難誘導訓練

5月31日、市では、梅雨などによる災害時期を前に、防災箇所の合同巡視を行ったあと、市役所7階大会議室で「鹿屋市防災会議」を開催し、34の関係機関・団体と、各種防災対策についての確認を行いました。

これは、災害時期を前に防災関係機関の緊密な連携を図りながら、迅速かつ適切な防災体制を確立するため、毎年この時期に、県が県内の市や町で開催しているもので、鹿屋市では平成9年以来10年ぶりの開催。

同日は、消防団をはじめ、県、市、警察、消防、自衛隊など57の関係機関・団体から約1,300人が参加して、避難誘導や消火訓練、救出・救護訓練など34種目の訓練が行われました。

5月18日、串良川河川敷と田崎多目的運動広場の2会場で、「大隅半島で震度5弱の地震が発生。さらに、大雨による崖崩れや堤防決壊などの災害が発生した」と想定し、大規模な鹿児島県総合防災訓練が実施されました。

これは、災害時期を前に防災関係機関の緊密な連携を図りながら、迅速かつ適切な防災体制を確立するため、毎年この時期に、県が県内の市や町で開催しているもので、鹿屋市では平成9年以来10年ぶりの開催。

迅速かつ的確に「鹿児島県総合防災訓練」が実施されました